

## 歯は人間の 二足歩行の支柱

人間は生物の中で唯一、二足直立歩行姿勢の生き物。二足直立歩行は非常に優れた、生物界の頂点を極める能力を発揮でき

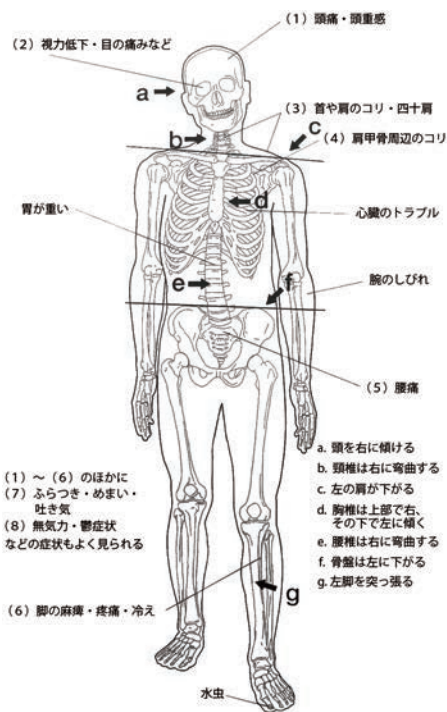
る形態だが、高性能な機械の常で、微妙な原因で不調を起しやすいため、

上に、細い首に支えられて5キログラム前後もある頭をのせていること。たとえれば、皿回しの名人が棒の上に皿をのせ自在に動かし回している状態。皿回しは、皿を支える棒に歪みが生じたり棒

の操作を少しでも間違えればすぐに皿は落ちて壊れてしまう。皿にあたるのが、上顎歯列（じょうがくしれつ）から上の頭部。そして下顎歯列（かがくしれつ）を含む下顎骨、脊柱、脚

# 頭痛、首や肩のコリ、腰痛、視力・聴力低下：

# 不調の原因は歯にあった！ 咬合治療で改善する諸症状



下顎が左方向に偏位した場合に起こる全身の彎曲。下顎が左に偏位すると重心も左に移り、体が倒れないように全身をくねらせ防脚姿勢をとる。その結果が側弯症である。そのため、図示したような症状が出現する。

## 林歯科医院（旭川市）

5キログラム前後もある頭と脊柱との接触点となり姿勢を調整しているのが歯。いわば身心を支える支柱で、その噛み合わせの微妙なズレが万病のもとだ。内科や外科に通っても良くならなかった頭痛、首や肩のコリ、腰痛、視力・聴力の低下が咬合治療で改善される。噛み合わせを治せば免疫力も高まる。

部が棒にあたる。歯は、皿（頭）と棒（脊柱など）との接触点となり微妙に姿勢を調整する重要な役割を果たしている。二足直立歩行の支柱なのだ。  
**内科、外科で治らない身心の不調**

このため、歯に狂いが生じると姿勢にも直接的で決定的な悪影響が出てしまう。逆に姿勢を支えるキーンとなつていいる歯を観察する目を持ち、加えて健全な食生活と適度な運動をすることで身心の調子をベストな状態に導ける。

歯の噛み合わせが悪く、下顎が左方向に偏移している場合、重心も左に移り、その結果、上の図で示したように、頭痛、視力低下、首や肩のコリ、腕のしびれ、足の麻痺などといったさまざまな症状が出現する。身心の不調に悩む人は



合治療を行っているのが旭川市末広1条7丁目の「林歯科医院」。

長年、頭痛、首や肩のこりで悩む患者さんが訪れ治療を受けている。林俊輔院長は「咬合の左右差を感じる人や、よくつまづく人、顔が左右非対称、体が前後左右に傾いていると感じる人はぜひ姿勢の歪みを測定して欲しい」と話す。

測定は「姿勢システム+キヤディアックス(Cyax)」で行われる。

いろいろな情報を求め、病院や心療内科などを回るが治らず悩み続けることになるが、要因は二足歩行の支柱である歯にあるのだ。歯科医で咬合治療を行い姿勢の歪みが解消され頭や首、腰や足の痛みから解放され驚き歓ぶ患者さんは多い。

## 姿勢システム+キヤディアックス

姿勢の歪みを最新機器で科学的に測定して、その分析データをもとに咬

合治療を行っているのが旭川市末広1条7丁目の「林歯科医院」。

足圧センサー情報



を計測する機器で、最適と思われる噛み合わせの位置を算出してくれる。

姿勢システムで計測した身体の傾きと足圧分布などから、正しい姿勢をとるための下顎の位置を導き出し、そしてマウスピースを製作して装着することで咬合治療はスタートする。調整しながら1カ月から2カ月マウスピースを使用し、良好な状態をつくることができ

た場合、プロビジョナルというプラスチック製の仮歯を作り、歯に接着剤で装着。仮歯に慣れてきたら最終的な補綴物をセ

ットするか、または矯正治療で正しい咬合を確立するという流れになる。

費用は、「姿勢システム+キヤディアックス」で1万5000円、マウスピース5000円、プロビジョナル5000円(いずれも税別)。

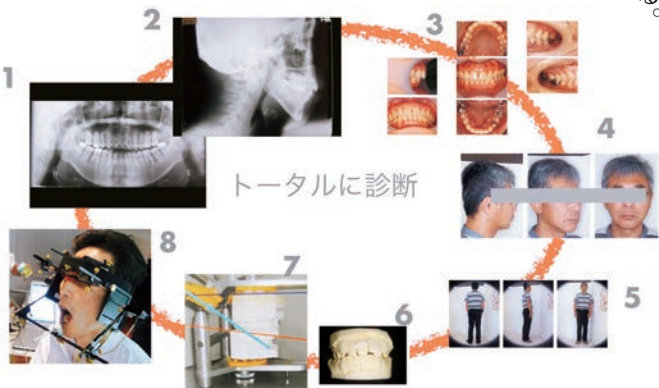
もう一つ調子が良くない、かなり体調が悪いといった不健康状態を「年のせいだ」「自分の体調はこんなものだ」と、あきらめている人は多いが、咬合治療で健康的な日常を取り

## 治療中の院内託児始めます 木曜午後 笑気吸入沈静—無痛治療も 水・木午後

「不思議の森」をイメージし夢や物語を随所に散りばめ、まるでテーマパークのような林歯科医院。大人も子どももリラックスして受診できるよ

う、高い技術とホスピタリティで通院患者の期待とニーズに答えている。乳幼児を抱えたお母さんが安心して受診できるよつ毎週木曜日午後1院

戻せる可能性があることを知ってもらいたい。



内託児」もスタートさせる。治療中は育児スタッフが乳幼児の面倒をみてくれる。また歯科治療に対する不安や恐怖心を和らげ、リラックスした状態で治療を受けられる笑気沈静無痛治療も毎週水曜日木曜日に開始する。